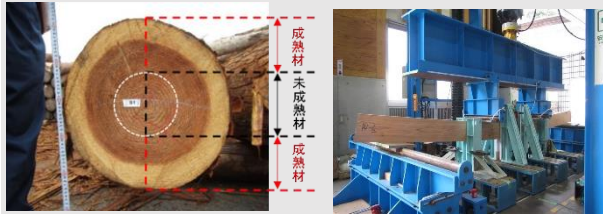


令和8年度 林産加工部の研究概要

～「県産木材の需要拡大」と「特用林産物の生産力強化」を目指して～

1

「梓組壁工法用部材へのスギ大径材の利活用促進」



スギ大径材

曲げ強度試験

- R6～R8 〈森林環境譲与税〉
- スギ大径材から効率よく強度性能の優れた断面の大きな梓組壁工法用部材を生産するための技術開発

2

「センダンの材質特性の明確化」



芽かきしたセンダン



センダンの単板

- R7～R9 〈一財〉
- 芽かきセンダンの単板から作製した合板やLVLなどの各種強度試験により性能を把握しセンダン材の新たな用途を開発

3

「原木しいたけの発生分散」



ビニールシートで雨水遮断



発生を分散

- R6～R8 〈一財〉
- 水分を制御することで、しいたけの発生を分散し収穫作業を平準化させる手法を開発

4 「県産木材試験・利活用支援室」

県内木材関連企業等からの依頼試験や技術相談に対応

県産木材の利活用推進を目的として

- ・ JAS認定申請に必要なデータの取得
- ・ 新たな木製品開発に係る性能試験などを実施



①実大木材高温乾燥施設



②面内せん断試験装置



③実大木質材料万能試験装置